

地域の身近な相談相手

地域のつながりが薄れる中で、身近な人の気付きや支えがますます大切になっています。ここでは、誰もが安心して暮らせるように地域を支える民生委員・児童委員を紹介します。

民生委員・児童委員を知っていますか

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受けた皆さんと同じ地域に暮らす身近な相談相手です。支援が必要な住民と行政や専門機関をつなぐ「架け橋」として、現在、市内では199人がそれぞれの地域で活動しています。

地域に寄り添うさまざまな活動

見守り・訪問

1人暮らしの高齢者や子育て世帯などを訪ね、声掛けや見守りを行っています。普段から気軽に話せる関係を目指しています。

相談対応

健康や介護、子育てなど、暮らしの中のさまざまな不安や悩みの相談に応じています。内容次第では、行政や社会福祉協議会、地域包括支援センターなど

の関係機関と連携し、必要なサポートへつなぎます。秘密は厳守します。

地域活動への参加・協力

敬老会や子ども食堂、認知症カフェなどの地域活動に参加・協力し、地域のつながりづくりに取り組んでいます。

一人で抱え込まないで

「1人暮らしで心細い」「介護や子育てのことで悩んでいる」といった、日常生活での心配事や困り事がある時は、民生委員・児童委員に気軽に相談してください。

住んでいる地域を担当する民生委員・児童委員が分からない場合は、社会福祉課(市役所議

会棟1階 ☎20・1536)で確認できます。

地域を支える活動を始めてみませんか

市では、成田・公津・遠山・ニュータウン・下総地区で民生委員・児童委員として活動する人を募集しています。

応募には推薦が必要ですが、市から区・自治会、町内会へ紹介することもできます。

福祉活動に関心のある人は、社会福祉課へ気軽に連絡してください。

応募資格 74歳以下で担当地区に居住している人

任期 令和10年11月30日まで ※くわしくは同課へ。

「ありがとう」が活動の力に

吾妻一丁目
民生委員・児童委員
上田 真弓さん
うえだ まゆみ

安否確認を兼ねて1人暮らしの高齢者宅を訪れています。顔を合わせるたびに言葉を交わし、日頃の変化に目を向けるのも大切な役割です。相談を受けた後に関係機関へつないだことを伝えると、ほっとした表情を見せてくれることがあります。そんな瞬間や「ありがとう」という言葉が、次の活動への力になっています。これからも、気軽に相談してもらえ身近な存在でありたいと思っています。